

# 令和6年度 長野市障害ふくしネットこども部会 学齢期支援連携会議 感想まとめ

## 1. 開催日時について

- ・よかった(18)
- ・ご配慮いただきありがとうございます。
- ・午前中に開催していただきありがたいです。(8)
- ・あつという間だった
- ・今後もお願いします
- ・夏休み明けにいろいろ問題が出てくるので、その頃に開催されるとよい。1時から勤務なので時間が変わると嬉しい。(お昼を食べる時間がありません)
- ・もっと早い時期に開催していただきたい。
- ・出席したいと思えばいつでも参加できます。
- ・年間計画に位置づいていけばよいと思った。
- ・土曜日などにしていただけたら参加しやすいかなと思います。
- ・早い時期に一度は開催してみてもはどうでしょうか。
- ・年度の始めがよい。
- ・新入児入学後(入館希望の際、相談のある児童がいる)少し落ち着いた時期に開催を望みます。
- ・平日午前中か土曜日に都合つけやすいです。

## 2. 感想・要望

### <子ども総合プラン施設>

- ・放デイの具体的な活動の様子や職員体制など、また利用に必要な過程についてお聞きすることができてよかった。具体的な支援の方法や自分の施設で取り入れられる手法など、次の機会があったらさらに伺ってみたい。いろいろな施設が情報を共有する必要を感じました。
- ・愛着障がいという話をお聞きしてよかったと思います。私たちはほとんど毎日のように子どもを叱ることが多いですが、「ほめること」を放課後の生活の中心に置きたいと思います。おこることのないように前もって「こうしようね」と決めておくことが、叱らなくてよい状況をつくれます。今後の中心に置いていきたいですね。
- ・放デイの先生とかは交流がないので、いろいろなお話を聞けて良かった。研修は横の研修が多かったので、縦のつながりの研修をこれからも取り入れてほしい。
- ・放デイについて、ぼんやりしたイメージが概要などガイドラインを知ることで、子どもたちに対して“スタッフの方の日々の支援”について細やかなことを考え実行している様子がわかりよかった。その子その子に対して「向き合ってます特性を知る」「好きなキャラクター・色」「興味をひかれること」「最初はアイコンタクトをとることから始まっていく」とのお話を聞いて、「信頼関係」を築く日々の努力が大切ということを再確認できた。
- ・保護者の方は、隠したがる方も多いので、福祉サービスのお困りごとの相談窓口のポスター等も配布してほしいです。(子ども対象のかわいらしいもの、わかりやすい)
- ・他のプラザの先生や事業所の方とお話ができてよかったです。このような交流はとても大事だと思います。今日参加されていない他の学校の先生ともお話ができればと思いました。

- ・初めての連携会議で放デイでの様子などわかった。各プラザでの加配児童に対応する色々な接し方が参考になった。連携が続いていくとよいと思った。各施設様々な悩み・取り組みがあった。勉強になりました。参加できてよかったです。
- ・6名くらいの話し合いがよかったですと思います。
- ・放デイの様子を初めて知ることができました。放デイに通う前やその後の様子も知りたいと思います。
- ・発達障がいの子どもに対して対応の話して、皆さんのお話を聞き、これから聞いたことを活かしていきたいと思います。
- ・学校・保護者（児童本人）・プラザ支援員・放デイみんなで共有し、みんなでその子のために楽しい場所づくりが改めて大切なことだと思いました。みなさんのご苦勞がわかり、私だけではないと思えたことも安心しました。「今日嬉しかったこと」一つ教えて」「何が嫌だったの？」早速使ってみます。
- ・放デイの児童の生活の様子や過ごし方を見に来てもいいですと言われ、是非見に行きたいと思いましたし、毎日の生活の様子も見てみたいと思いました。声掛けが大事、声をかけるかけ方、あなたが大切ということピントきました。よい時間をありがとう。
- ・配慮のいる児童は、地域との交流が少ないということで、プラザ利用は大事なことということを知った。情報交換を密に取り、児童にとって何がよいか考え対応して生きたと思いました。
- ・放デイの施設と交流し、様子を聞く機会がないので有意義だった。これからも続けて開催してほしい。
- ・普段話すことがない放デイの方たち、他のこどもプラザの方たちの話を聞くことができ、とても勉強になりました。学校との連携・保護者との日常的な会話からの信頼関係、スモールステップ、改めて考えていこうと思いました。
- ・いろいろな施設の方のお話が聞けて良かったです。細かな質問もしたかったのですが、時間もなく、またこのような企画があると良いと思います。
- ・「手を焼いている子」にどう接するか、保護者とどう関係をむすぶか、こういった難問が浮かんだ。子ども財団からセンター・プラザを巡回してこまりごとに対応して下さる専任職員がいらっしゃるの、各施設の相談事例をまとめ、事例集のような形で共有してほしいと思った。ケースバイケースですべて異なるケースだけに参考になるのでは。
- ・放デイ職員の児童への支援内容が参考になる点を現場職員と共有していこうと思います。センターの1年間という短い時間の中で「スモールステップ」で児童の自己肯定感を上げられるようコミュニケーションをとっていこうと思います。また、保護者との距離感も様子を見ながらお話をしていこうと感じます。
- ・改めて子どもを小さなことからほめる、スキンシップ、投げないでいられたね、落ち着くことができたね、当たり前と思えることでも「ほめる」が大事ということ、問題行動への重視でなく、その背景に何かあるのかを考える、そのことから、どうしたらいいのか、どうすればいいのか考えていくことが大切だと思いました。放デイの方々との話し合いがもたれよい時間でした。
- ・事業所さんの思いも同じであることを認識しました。手をたずさえて情報交換を密にして、一人一人の子どもに寄り添っていける環境を望みます。大人のできることはいっぱいあるはずで。
- ・児童の年齢・障がい問わず、スケジュールやこれからやることを見てわかる工夫を貼りだすことは重要。狭い室内でもパーティーやテントなどで仕切ってざわついた気持ちを落ち着かせることは実施してみたい。
- ・グループ会議は大変勉強になりました。デイの方や支援の先生のお話、これからプラザに戻り職員で共有してカードを使うなど挑戦してみたいと思いました。
- ・医療的に発達障がいの診断を受けてはいないけど障がいの気がある、感情コントロールができない、関りが難しい（友人との間で困っている等）子の対応をもっと聞きたい。
- ・補助員2年目で何もわからず初めてののお話でしたが、違う社会を少しだけ知ることができました。
- ・グループワークはとても有意義でした。放デイの方々の工夫をいろいろ試してみたいと思います。

## <福祉関係>

- ・児童センターの方と話す機会がなかったので、とても良い機会になりました。今後も子どもの気持ちを受け入れる安心の場としていきたい。
- ・プラザ・センターの方の実情を知れてよかったです。
- ・時間が早く感じられ、また会を設けていただきたいと思いました。
- ・プラザ・センターの方とのつながり方を深めていける機会になれたかなと思いました。
- ・情報を共有していくことを大切に、事業所側からも提案していくことを増やしていきたいです。
- ・児童センターの方とお話できる機会がなかったので、とってもお土産いっぱいできました。放課後の気持ちが解放された子どもたち、遊ぶことは共通しているし、悩みは共通している部分が多く、もっともっと話したかったです!!
- ・プラザの方のお話を聞かせていただいて、困ったことなどに対して、放デイ、学校、保護者の方との連携、情報共有がこれからとても大切だと感じました。地域の友だちと関われる学童期は貴重なので、放デイとの併用しながら地域の中でもよりよく育ちにつながるよう前向きに進んでいかれるよう協力しながら少しでも進んでいきたいと思いました。
- ・今回、貴重な会を開いていただきありがとうございました。それぞれの立場での過ごし方や悩み等お聞きすることができてよかったです。今後も続けていただけると嬉しいです。
- ・センターやプラザの方のお話を聞けたり、様子を聞いたことが勉強になりました。
- ・今回の会議で放課後の関りのある方々とお話をする機会があり、大変勉強になりました。それぞれのところで困り感のあるお子さんがいて、情報共有の大切さを改めて感じました。大きい集団の中で、その子が他者と関りながらも安心して自分を出せる環境づくりや居場所を作っていくこと、1つでもその子の素敵などところを見つけて認めていくなど、それぞれのプラザや事業所で行っている工夫を共有していただいたため、私の今後の支援に活かしていきたいと思いました。本日は貴重な機会をありがとうございました。
- ・なかなかセンターの先生方・他事業所の先生方のお話を聞くことがなかったので、とても勉強になりました。事業所でも共有していきたいと思えますし、今以上に連携を大切にしていきます。
- ・みなさん「こどもファースト」は根底にあり、有意義な連携会議だと感じました。「何でもっと早く開催されなかったんだ」という感想がグループから出ました。正にその通りだと思いました。(センター・プラザと学校との連携・情報共有のあり方に課題があるのでは?と感じる場面もありました)
- ・今日は情報共有で終わったのですが、この先、一人のお子さんのためのチームに今日集まった人たちがなれると良いなと思いました。
- ・グループワークでいろいろな立場のお話ができよかったです。もし、深いところなど時間があるといろいろなお話ができたとと思うので、こういう機会をまたお願いしたいと思います。今後支援会議にセンター・プラザの方も参加していただこうと思います。
- ・グループワークの時間が足りなかった。すごくよい機会でした。
- ・今回の連携会議では、放デイとして、センター・プラザの実情を垣間見ることができありがたかったです。課題や状況の抽出が主だったため、論点について次回以降ある程度絞った内容が必要になると感じます。連携を進めていくために。
- ・センター・プラザと事業所については、地域が近いグループの方が話を進めやすいと感じています。
- ・子どもたちの生活の主軸は学校となるが、そこを支えていく児童センター・プラザの実際の様子や悩み事を知れてよかったです。またお互い相談先を探していることもわかり今後の連携について前向きに考えられた。
- ・いろいろな方の事例が聞けるのは良いと思いました。時間が足りなくて、どうしてもさわりだけになってしまったので、もう少し深掘できる時間や環境があると良かったです。

- ・プラザの職員さんとお話する機会はなかなかないので、お子さんを思う気持ちを知ることができてよかった。親御さん・プラザの方が、「放デイなら」と信頼を置いて放デイへの切り替えを検討していることを改めて知って、来ていただいている意義があるようにしなければいけないと身が引き締まりました。学校・プラザともチームとして頑張っていきたい。
- ・お子さんの支援・保護者の方かかわり・関係づくりについて主に話し合いました。まだまだ話したりないという感じでしたが、プラン放デイの連携・情報共有が重要などみなさん認識してくれたようで嬉しく思います。
- ・様々な立場の方々のご意見を伺うことができ、また放デイとしてセンター等と協力し、情報交換をしながら支援していければよりよい活動ができると感じました。
- ・日頃関わりの持てないセンター・プラザの方とお話ができてよかった。支援会議に参加していただいたことがなかったが、お互いに会議の必要性を感じていることがわかったので、今後一緒にやっていけそう。
- ・保護者との関りは、放デイ以上にセンター・プラザの方は苦勞されていると感じました。
- ・プラザの職員の方が日々抱えている思いや悩みをお聞きし、それぞれの立場から“どうしていけばよいか”という話し合いができたので、とても勉強になりました。今後も学校⇄放デイのみでなく、プラザとも連携を密に取りながら児童の支援にあたれたらと思います。
- ・プラザさんでの悩みが思っていた以上に多いのだと感じました。もしかすると学校や保育園でもどのように対処したらいいかわからない先生たちも多いのかもと思いました。放デイとして、どのように情報共有を行うかとても大切だと思いました。
- ・いろいろな施設の情報を交換でき、今後事業所でも取り入れようと思えた。
- ・千曲市から参加させていただきありがとうございました。時間設定難しいかもですが、プラス学校さんが参加できるとなお良いかなと思います。
- ・センター・プラザに対して、分からない事、自分の子供が利用していた時のイメージが、今回お話をさせて頂き、アップデートされました。色々とお話を聞くことで、現状や今後色々な形で関りを持たせて頂けそうだなと思いました。実際に見学等依頼出来たらいいなと思いました。
- ・プラザ・センターとの関わりがなかったので、様子や困っていることが分かって良かった。もっとセンター・プラザとの情報共有の場があるといいと思いました。これから送迎するような機会も出てくると思うので。

## <ながのこども財団>

- ・初めて放デイの方のお話を聞くことができた。どう対応していいか、わからない施設・職員も多いので、お互い情報交換し学びあいたい。ありがとうございました。この会にもっと多くの施設・職員が興味をもって参加してもらいたい。
- ・センターとプラザと学校との連携は少し進んできているが、放デイとの連携は、これからの大きな課題とっていました。第一歩として今日の連携会議はタイムリーであり、次へ活かしていきたいと思いました。
- ・私自身放デイの様子をもっと知りたいと感じた。
- ・今回の会議をきっかけに、関係各所との連携が進んでいくようお願いしたい。とても重要な会議だと思うので、定期的な開催をお願いしたい。
- ・センター・プラザと放デイとの連絡会等お互い持ちたいと考えているので、ぜひ実現してほしいと思います。放デイの方々からプロとしての考え方をお聞きし、すべての施設の先生方に親との接し方や子どもとの接し方について学んでいただきたい。そして実践して技を身に付けて行けたらと思います。
- ・有意義な会でした。
- ・日頃の放課後の苦勞や課題などを知ることができ財団としてどのようにサポートしていけばよい考える必要があると感じた。

- ・放課後施設と放デイ・学校との連携・共有のあり方の良さが伝わってくるグループワークでした。個別支援との出逢いが、その子を見守りにつながるケースも聞かれた。(療育の意義・愛情が豊かに提供されている)
- ・放デイ支援—構造化の是非・移行の可否判断について専門家のお話を聞きました。

#### <学校>

・ちょうどタイミングが合い、参加させていただきました。みなさんと立場は異なりますが、同じく子どもたちを支援する者としてお話しされる情報は共感するものばかりでした。放課後は、子どもたちにとってリフレッシュの場であり、明日のエネルギーをチャージする大切な時間です。放デイの専門的な支援をプラザ・センターでも活かし、また学校とも連携しながら共に子どもたちの育ちを支えていけるといいと思いました。また、機会があれば参加させていただきたいと思いました。

### 3. 今後こども部会で取り組んでほしい企画など

- ・不登校児童を福祉現場から支えたい!福祉施設も不登校児童の受け入れを積極的に実践できるようにしたい!
- ・関係機関との情報交換会など
- ・学校や行政と情報共有できる場
- ・保護者支援の実例
- ・またこんな機会をよろしく願います!
- ・今後もこのような情報共有の場があると大変嬉しく思います。(10)
- ・このような会を年に2回程お願いしたい。
- ・グループで話せることはありがたい。
- ・もう少し時間を長めにこういった場を設けていただけると嬉しく思います。
- ・問題行動を起こす児童との関係づくり
- ・グループの話し合いの中で、親(保護者)との話について
- ・見学に行きたいです。
- ・支援の方法等よろしく願います。
- ・今回のような支援連携会議をぜひ続けて開催してもらいたい。形は変わるかもしれませんが、よりよい連携支援の情報共有の研修会等を増やしてほしいと思います。
- ・より具体的な特性のある子への対応方法
- ・プラザ・放デイそれぞれの施設見学会
- ・学校(市教委)との連携会議を希望します。
- ・「この時どうする?」の実践勉強会など
- ・放デイ・プラザ・学校の連絡先一覧があると便利だと思いました。
- ・今回できた関係が継続していけるような取り組み・企画
- ・近い地域のセンターと放デイで話せる機会があるといいと思いました。
- ・聴覚に障がいをもっている子のいる所のお話が聞きたいです。
- ・今回のような、関りを持てる機会や、支援スキルや、加算、記録など現場での具体的な内容を共有できる機会があるととても有難いです。

